

クイズ：今年がプラネタリウムができて[]年

S.P.V つうしん

スペースパークボランティアの会

郡山市ふれあい科学館 スペースパークボランティアの会 会誌

第70号 2023年（令和5年）6月 発行

福島県郡山市駅前2-11-1 郡山市ふれあい科学館内 TEL 024-936-0201



SPV ホームページ



★ ボランティア DAYS を開催しました

2023年3月11日（土）、12日（日）の2日間、ふれあい科学館にて「ボランティア DAYS」を開きました。

まずは、一般参加型のボランティアまつり。科学館2階展望ロビー（無料ゾーン）にて、SPV 案内グループは昔遊びや紙芝居、科学グループはベンハムのこまと折り紙教室、天文グループは星座早見盤作りと星の工作を行いました。今年は新企画としてスタンプラリーを実施。すべてのグループを回ることで、会員が撮ったたくさんの天文写真から好きなものをひとつ選び、その場で写真プリントしてプレゼントしました。選ぶ時、そして印刷の間に、その写真を解説をすることで学習することもできました。

ボランティアまつりではさらに、自由参加プログラムと題して展望ロビーで会員による出し物も企画しました。初日には会長談話「生涯学習をまじめに考える」、案内グループ「郡山の歴史と伝説」（さらに尺八演奏！）。2日目には「鉄道写真を撮る」「天文がたり」のタイトルで、一般来館者や案内・科学・天文の各グループを交え、自由にレクチャーや情報交換をしました。興味のあることを教えあい、学びあい、教えるために自ら学ぶ、生涯学習の理想的な形と感じました。市民や子どもたちとの交流だけでなく、メンバー同士の自由な交流もまたボランティア会の良いところです。

ボランティア DAYS ではさらに、福島きのこの会会員で、大学で専門的に研究もされてきた広井先生をお招きし、学習会も開きました。これまで猪苗代湖の環境や安積疎水など地域をテーマとした学習会を開いてきましたが、今回は地域の環境や食文化をきのこを題材に学びました。現物や模型を眺めながら、福島でみられるきのこや毒きのこ、きのこの生態など多くの話題がありました。

また、会員向けの総会を行い、2022年度の活動報告と2023年度の方針が満場一致で議決されました。今年度も一年間頑張っていきたいと思えます。

丸二日間と長丁場でしたが、「学ぶ、話す、交流する」のボランティアの良さがぎゅっと詰まったイベントでした。そしてボランティアまつりや総会を開けたのはコロナを経て実に4年ぶり。どこか同窓会のような懐かしさがあり、また最近入った会員は目新しさがあり、充実した時間でした。今年は20周年のイベントも企画し、楽しんでいきたいと思えます。

（科学グループ・熊本）



★ プラネタリウム100周年 ～地上の星 ドイツに生まれて1世紀～

プラネタリウムは、ドイツのCarl Zeiss社が1923年に博物館で試験公開したのが始まりで、「イエナの驚異」と絶賛され、今年で100周年となり全国各地で関連イベントが開催されています。

日本では、1937年に大阪市立電気科学館へ、9千個の恒星を投影できるCarl Zeiss社の機械が設置されたのが最初です。以下

1950年代末には国産初となるプラネタリウムが誕生。

1970年代には手動操作から自動制御による演出を導入。

1980年代には映像の臨場感を演出する傾斜型ドームが登場。

1990年代に3次元の星のデータを含む映像システムが日本に誕生。あたかも宇宙空間を自由に移動して観ているような画像を実現。

2000年代に入り全天周デジタル映像と光学式プラネタリウムを融合させた「ハイブリットタイプ」も登場。

最近では投影できる星が数億個と「天の川」など実像かと思える程のレベルにまで進化しています。

現在、日本には300台を超えるプラネタリウムがあり、福島県内では4か所（福島/郡山/滝根/棚倉）が稼働しています。その中で皆さんご存じのように我が『郡山市ふれあい科学館』のプラネタリウムは、「世界一地上から高いプラネタリウム」としてギネスに認定されています。機械の進化もさることながら、工夫を凝らした特徴のある解説もプラネタリウムの楽しみの一つです。皆さん、是非プラネタリウムに行ってみましょう！

(天文グループ・石井)



★ SPV 創立 20 周年によせて

SPV は今年、創立 20 周年を迎えます。その初期から活躍している会員より記念の文章をいただきました。

仕事を辞めて暇をもてあましていた時にボランティア募集を知り、すぐに応募しました。館職員の方々と試行錯誤しながらのスタートでした。初めは案内ボラをやりました。展望ロビーからみえる景色、郡山の産業や歴史等いろんな事を学びました。机上学習だけでは無く現地にも足を運び、皆で語り合いました。中でも整備途中の大安場古墳に行ったときは楽しかったです。又、展望ロビーではやる事がないという会員の声から紙芝居をはじめました。

これは全員が初体験だったので苦労しました。最初は緊張しすぎて上手くやる事ができず、恥ずかしかったです。でも楽しい思い出です。科学に移ってからは子ども達に工作を教える事が主になり、楽しみながらやっています。科学ボラで学ぶ事は多岐にわたります。私は81歳になりましたが元気です。まだまだ学ぶ事は沢山あります。仲間に助けていただきながら学び楽しい時間をつくっていきたいと思っています。ボランティア万歳です。

(科学グループ・佐久間)

スペースパークボランティアの会 (SPV: Space Park Volunteer)とは・・・

郡山駅前・ビッグアイにある科学館スペースパーク(郡山市ふれあい科学館)を拠点に活動する、市民たちによるボランティア会です。幅広い年代の約80名の会員が案内・科学・天文の3グループに分かれ、科学館内の展望ロビーや常設カウンター、駅前の星空観望会のほか、市内各地の公民館活動や学校行事、地域イベントなどに出席し、また生涯学習を目指しています。まちづくりハーモニー賞受賞団体、星のソムリエ多数在籍。新会員常時募集中です。各種イベントの出展も承っております。